京城新報

能はず眞摯なる能はず全く吾れは形骸のみを留めたる木伊公なりき血も熱もなき木伊公なりき。

●歳末自観（二）　夢涯浪客

（二）下

なるに數月にして吾れは藥を携へて辛くも社會に歸するを得たりき、爾後の吾が歴史は多病なる苦惱より愛愁煩悶に入りぬ然れども斯くも瀕死の病に悩みて而して猶死せざりし予は窃かに似爲らく士の斯の生を誇惜するや偶然に非ざる可し自ら喜びて自ら前程を祝福したりしも想へば青年客氣の空想に過ぎざりき無死の病に冒されて纔かに生きて後予が健康の衰へたると共に一切の功名心は秋雲と同じく淡く多感の覺世味殊に棘きを覺ゆ靜修の功全く未だ成らざるに機心徒らに動き壯士未だ灰せざるに意氣は早くも衰へたり會ては靜觀默想の予が性も世の濁り人の哭き醜惡悲慘なる世想の樣の餘りに多く餘りに明かに映じて眼前脚下の缺陷ある耐俗を如何にして泳ぎ如何にして意義あらしめんかと疑應吾れは惑ひしか恐れむ可きかな吾が過去半生の數奇徒らに狂名を贏ち得たるのみにして碌々の間に終らんとす今年今月歳已に二十有五。

（三）

『懐疑』『不安』此の不可思儀の現象的觀念に悶ね苦みて吾れは再び恐れむ可き煩悶空想の兒となりぬ。さなきだに細かなりし吾思想の泉既に全く涸れて記憶の手綱は紛糾なる人事の凡てに棄されて理を釋ぬるに其緒をだに失ひ想像の翼は乾燥なる實際に傷められて思を騖するにはばたく力もなく餘りに世情の冷きに觸れて予が血は復動かずなり餘りに世味の苦きを嘗めて予が神經は既に鈍れり予が心は石の如く硬く凡ての刺激に猶はず吾が情は灰に似て冷かに凡ての感興に燃ねず永遠を宿せる空の色無限を慥る、星のまばたき當時の吾れには何の意味をも悟らしめず理想とや道へども捉へ得ぬ空しき幻の影に非ずや詩とや美とや香に迷子痴子たる夢の名殘り何か崇高にして何か尊きかとさへ思へぬ。嘗ては涙と恨とを以て觀たる人世の矛盾も今は嘲讃に値するのみ呪さし相りもしたる人間の僞善今は唯冷笑に資するのみにして當時の吾れは激越なる

●關東州の植林熱

關東州及び旅順管内等しく植林を奬勵せる成績見るべきものあり而して大連民政署管内の植林も奬勵其宜しきを得たる結果か各村の有志奮發し相競ひて植林事業擴張を希圖しつゝあり▲老虎灘會は此程村費を以て松實二斗柞實十石の買入方を申出で▲革鎭堡に於ても昨年種子の下附を受け苗圃を設けしが成績良にして既に一萬五千本の移植に適せる樹苗を得るにいたり目下之を各部落に分與して植林用に供せんか又は共有林を作りて之が植付用に供せんか等に付き研究中にあり▲沙河口及び柳樹屯等に於ても一昨年來苗圃を設け將來の植林に供へつゝあり▲特に一昨年來の植林思想は各村を通じて熾んに發揮されたるものあり大連に民政を布きし以來大連民政署管内にのみにて官業又は民業として植林したる反別四百五十町歩之れに播種又は移植したる樹苗は松苗及び胡藤苗は二百萬本及び播種したる柞實百石之れにより生育したる柞樹約二百萬本なり此景況を以て進まんには十年後に於ては現在の十倍大以上の植林面積を得べく四方に連亘起伏せる丘陵峯轡蔵く青色を見るにいたるべしと云ふ

●文苑

●漢江のほとり　松翠生

江の岸の柳は枯れてかゝり船苫の上うすく白雪のふる

○

薪木つみて江を下りゆくむしろ帆に影よわ〳〵と冬の日のさす

○

船はみな港に去りてひろき江に薄氷しぬ冬の夕ぐれ

○

渡し呼ぶ人もさだかし堤影小屋の榾火のかげかすかなり

○

雨まじりみぞれ降る夜は江の岸に苫をしとねの船人かな

●外事一束

▲坑道破壊し米國ナンチナシ炭坑作業中の坑夫百六十名地下に生埋となる



人の一生は重き荷を負ふて遠き道を行くが如し急ぐべからず

[illegible] 仁川支局 [illegible] 東京支局

▲墨國　内十州は叛旗を飜しレース將軍は米テキサス州より無事に入國すと
▲耶蘇降誕祭を期し英國全土の郵便配達夫大同盟罷業を成んと企てたるも
▲首相アスキス氏特殊委員を任命し配達夫の苦情を容るゝ事となり未然に防止す
▲英帝　百名の印度國王に各自拜謁を給ひ又た十名の貧長に夫々叙勳を爲す
▲昨年　ポツダムに締結せる露獨協約政策を嚴守すべき旨露政府公然發表す
▲駐英　露國大使露外相より波斯問題に關し英と一層融和せよとの命を承く
▲土國　其の國境の要塞地帯に於ける伊太利人を悉く放逐するに決したりと
▲波斯　既に露の最後通牒二ヶ條を承認し現に爭點となり居るは他一條のみ
▲英國　陸軍次官愛蘭問題に關し述べて曰く英國自由黨は愛蘭問題と共に立つ
▲運命を同くし倒るゝ亦同じくせん政府の誤解を解き同件の處分を爲んと

新年和歌募集

勅題「松上鶴」　選者　九皐舘去留

一、一人にて何首にても宜敷、用紙用箋は御隨意の事、但投詠者は住所氏名御明記の事
一、締切期限來る十二月二十日
一、發表は四十五年一月元旦の本紙上を以てす

右は例年の通り勅題和歌募集致候に付同好の御方は奮つて御投詠あらんことを

京城新報編輯局



梁川庄八　小金井蘆洲演

第九十七回

梁川庄八は檢分の役人に對ひ一禮をなし、太刀を取て悠然と控へたる、其有樣は威風凜々として四邊を拂ふばかり先へ打掛らんとの氣構はございませぬ身には一點の隙だもなし、又四人の側侍も、有繫に藻庭主水が選に選て選はした侍程ありまして、是亦五體に寸分の隙もなく、素人目には何れが勝つか負けるか、固より知る由もございませぬ、見物一同は瞬きもせず、息を殺して勝負如何にと待受けて居ります四人の侍は一層顏に力味を顯はし『一刀の下に見事打取りくれん』との權幕にて、四人共同樣と立上りました、扨此決鬪なるものは、一人づゝ出で、勝負を試みるのが、武門の例慣だそうで四人同時に掛ると云のは極めて卑怯な振舞でございますが、庄八は之に對して何の苦情も云はない、勇士の膽斯くなくつてはならん事でございませう素破と云間もあらせず、四人の侍は腰なる刀を拔放つて、丁々發矢と斬込んだる太刀音の凄まじさ、一上一下一進一退鎬を削り鍔も碎んばかりに斬合ふて居ります、其中に前面から兩八郎が斬込んで來る。刀を丁と受流して、返す刀で眞向より眞柱の當りまで、美事に斬下げました、此時速く彼の時遲し

際を狙つて望月大藏、一刀の許に刻みくれんと斬込む奴を、今度は横に振て鳥の如く身を捩すよと見る間に、大藏は肋三枚乳の下掛けて斬下げる、二言と云はず此世の暇、殘る兩人は憎き大罪人奴と左右同時に斬つてかゝる、其鋒先の鋭くして當るべくもあらず、庄八はあわや斬付られたかと思の外、ヒラリと跡へ下つたかと思ふと、又も飛鳥の如く飛込來て左右へ斬て落したる其早業、如何にも非凡にして人間業とは思はれぬ勢ひ、斯斗り腕の冴たる梁川で御座いますから、四人の侍を皆一刀で絶息をさせた、切先より血汐のしたゝる刀を提げて、付添人宮田兵庫に打向ひ『庄「兵庫……拙者は聞より無益の殺生を好む者にあらず、然らば先頃も能く〳〵理非を悟したるに聞入れもせず、見らるゝ通りの仕儀と相成つた、斯く連立ち來りし、四人の者が拙者の刀に斃れしを殘念に思はゞ、拙者が許すに依てさあ尋常の勝負に及ばれよ』宮「ココ是れは念の入つたる言葉であるが、拙者は素と檢視の役吏に斬合は好まんもので、決して其儀には及び申さぬ』と今までの勇氣に似もやらずがた〳〵歯の根も合はずに顫へて居りまする、庄八は嘲笑つて『庄「然らば此四人の紀念を以て本國に立歸られよ、尋常の勝負ゆゑ本來ならば、此四人の斷息を刺すが武士の本意であらうけれども、主人の命を辱めたる無禮者ゆゑ切棄に致すから左樣心得よ、兵庫如何おやそれとも異存あらば申立てへ』と云はれたが兵庫は眞蒼になつて、いざと云はゞ逃出さうと云ふ風情にて、ばかりもが〳〵して居ります『庄「此度其方共が當地へ參つたことは、主君政宗候は正しく御存知ないに相違ないが萬一御存知ならば左の儀を委細申立てよ、只謂れもなく此梁川庄八を召捕らん爲に、十人二十人乃至百人二百人の捕方を差向けらるゝとも、庄八は決して素直に縄目の恥辱を受け、むざ〳〵と首を相渡す譯には行かん、又は目釘續くだけ、腕力の有らん限り、切つて〳〵切捲り、刀折れ力盡きて後斃れん覺悟であるから、其儀を申立てよ、左りながら若し政宗候に於て、尋常の取扱なすに依り、速かに縛に就けなら就け、首を渡せなら渡せと云ふ下知を傳へらるゝに於ては、拙者とても強ち手向ひを致すものでない、時宜に依ては首も渡して遣らう、且つ拙者は今日限り此國には足を駐めぬ、併し何れの地に赴くとも相變らず、仙臺破牢の浪人と云ふ肩書は公然宿札に打て、標目と致して置くから追手は其處へ差向けらるゝやう、是れ亦主君に申立てよ』と云ひ了つて刀の血潮を拭ひ、ぴたりと鞘に收めて、檢視の役人に默禮なし悠然として引退りました』宮田兵庫は庄八の出行く姿を見送りまして、漸く生きたる心地致し同志の人の髮の毛を切り、其外大小持物を取揃へて、死骸取片付を里見家の侍に頼み追て當國より何分の御挨拶あるべしと、申殘したる儘そこ〳〵に、其日城下を出發して仙臺に立歸りました、程なく戻つて藻庭主水に始終の話を致しますると、主水は大に驚いたが今更何とも致方がない毛を吹いて疵を求めるとは此事だと斷念まして、取敢へず四人の妻子遺族に手當をなし、宮田兵庫にも充分の手當を致して、只此事は何處までも、内密にしなければならぬさ、堅く兵庫に口止をなし、宛も臭い物に蓋をしたるが如く主水は專ら後難を恐ひ、病氣と唱へて蟄居して居りまする。



東京電報

▲選舉法改正案内容 選舉法改正調査會に附議せらるべき内務省の原案は未だ具體的に之を窺知する能はざるも今次の改正は獨立市の増加に伴ふ議員の増加は別に異議なきも主義に於て最も研究を要するは選舉區の大中小何れを採るかにあり而して原内相は我國の現狀に鑑み尚小選舉區制の妥當なるを確信し居るを以て改正案は小選舉區に多少の改正を加へ提出を見るに至るべしと

▲アルバニヤ叛亂 倫敦來電に依ればアルバニヤに一萬二千の叛徒起り掠奪を恣にし官憲と數回交戰を爲す叛亂益々瀰漫の兆あり

▲媾和使一行の着港 官軍媾和使唐紹怡一行十四日漢口出發十七日上海着の豫定なり

北京特電

▲外交團關稅監督 北京 外交團は動亂中清國の稅關收入を監督し外債其の他の支拂に供せんため各國の委員會を設けん事を提議し其提案の内容如何は之を詳にする能はざるも滿國政府の財政狀態より見るも共に之を監督するには日本の財政を許さゞるを以て日本を除外したる額を以て外交團の參…が結局香港上海銀行に於て處理すべく露清銀行にて日本に加入すれば日英同盟を無力ならしむる恐あり而して日本は如何なる態度を執るべきか大問題なり

▲媾和大臣に内命 袁世凱は唐紹怡に對し若し革命軍にして民主共和を主張せざるに於ては如何なる要求をも承認すべしとの意を内命せり

▲露清國境解決 露清 露清國境問題は滿洲里驛は露國領に又國の主張たりし額爾古納河々身の中央に於て等分する事と露國の讓歩により解決せり

▲露公使留任せず 駐清露國公使は病氣療養のため再び任地に歸らずと傳へらる

▲張勳部下の掠奪 昨今山東省より直隷省に入込む避難者續々たり之が爲め津浦鐵道は日々滿員の盛況なり彼等の言ふ處に據れば張の兵は掠奪を恣にし人民の困難名狀すべからず然るに張は寧ろ袁總理の命を奉ぜざる由なれば第五鎭の一部が若し南下するに於ては張の兵士と官軍と革命黨と土匪との四者互に相鬪し山東南部は萬字巴と混亂するに至らんと又過般陳總督は若し張勳の軍北上するに於ては革命黨の追擊を受け革命軍をして遂に直隷省の境に侵入するの期を早からしむるものなりとて其の北上を止めんと人を派して軍資金及兵士の冬服彈藥等を送附せしめたるも同使者は袁州まで行きしも土匪蜂起せるため空しく引返せりと此の當局者の談と避難民の談とを綜合すれば張勳部下の現狀を察するに足るべし

上海電報

▲庫倫の宣言取消 續き 先に獨立を宣言せる庫倫は亦宣言を取消さんとす

▲遼陽攻擊計畫 遼陽 遼陽の革命黨員約六百名は馬賊六百を會し遼陽を陥れ勢に乘じ奉天を衝くの計畫ある者の如し

▲避難者と滿鐵 近來南滿鐵道は一等旅客常に滿員にして其の多くは清國人の上海に避難し來る者にして十中八九は斷髮し居れり

▲降服艦の配置 革命軍政府は歸順軍艦を楊子江各地に分配する事となり武昌に海籌海琛南京に海容鏡清大同建威九江に楚建其他各港に夫々派遣したり

▲二百万元借款成立 趙總督の三井洋行に對する二百萬元の借款申込みは談判進行中なるが結局商務會借主となり協議纏まるべし

▲袁の部下上海着 袁世凱の部下十四名は十二日當地に着し革命軍に對する媾和談判の準備に着手せり

▲革軍と共和組織 黃興は南京に向け出發せりとの說あり尚共和組織は完備し其事務の擔任者の撰擇も殆んど終れり

▲革軍湖北に向ふ 南京にある一個聯隊の革命軍は軍艦に乘じ湖北に向け出發せり

紐育特電

▲印度首府の遷都 デーリー來電によればラーバーに於ける英國皇帝の戴冠式は最も壯麗を極め皇帝は御機嫌麗はしく拜せられ印度首府カルカッタをラーバーに遷都せんとする旨仰出されたり遷都費用は少くとも二千萬弗を要すべしと

●棉花栽培協會解散 朝鮮棉花栽培協會は韓國政府時代に於て財政顧問部其他の補助を受け全羅南道に於て棉花の栽培に從事したるものなるが先年棉花株式會社の成立に際し合同する事となりしが其後會社の成立一頓挫を來したるも從來協會に對する當局者の保護は當然斷絶したるを以て協會として存立するの必要なく今回愈々解散に決したりと云ふ

●手形交換高比較表 昨年下半期に於ける京城手形交換所の手形交換高は五萬九千四百十六枚二千〇四十八萬九千五百八十一圓十六錢にして本年七月一日より十二月七日に至る交換高は七萬八千九百二十五枚二千三百七十三萬七千五百十七圓四十四錢なれば既に枚數に於て一萬九千五百九枚金額に於て三百二十四萬七千五百三十六圓二十八錢の增加を見るに至りたるが年末に近づく每に益々增加趨勢なれば殘餘の二十數日を合算する時は非常の增加を呈すべし斯くの如き激增を見たるは恩賜公債下賜の影響にも依るべけれども從來商人間に於ける取引は現金拂ひなりしを一般に小切手を利用するに至れるを昨年迄は交換せざりし公債利札等をも交換するに至れるに因するなりと

●鑛脈斷絶と風說 近來朝鮮有數の金鑛雲山の鑛脈斷絶したる爲め同鑛在留の米國人は其の一部既に稷山金脈に轉じたりとの風說行はるれど同鑛にては鑛脈斷絶等の微だになく同鑛用の燃料に缺乏を告げをる位にて先般も之れが燃料供給の爲め鑛附近の官有林の拂下を乞ひ目下農商工部山林課に對ひ監督技師の人撰を乞ひつゝある程にて益々有望なりと云ふ者あり

●年末と海產物 年末又は年頭贈答用として昨今各種海產物の出廻り多く其の種類及び値段は鮮新卷上八圓五十錢並七圓五十錢明太魚六圓三四十錢棒鱈九圓五十錢目等百斤に付廿錢乃至廿八錢前後鰊廿圓乃至廿一圓田作九圓五十錢にして其の移入先は明太魚の北鮮地方を除き大部分内地の北海道產にして需要先は明太魚は九分通り朝鮮人なれど其他は内地人主要部分を占め居る爲め各海產物共に年々内地人の移住增加と共に需要額亦增加一方なれど入荷割合も非常に多く爲めに一般に買焦りの氣味にて價額は兩年に比し割安にて殊に明太の如きは在荷品多きに尚ほ入荷續々あり爲めに二三十錢の下落を生じつゝありと

●前田氏歡迎會 既記の如く前田正名氏は十四日入京したるを以て京城經濟協會及び京城商業會議所の發起にて十五日午後四時より京城ホテルに於て歡迎會を開きたるが席上同氏の滿洲商工業視察談あり頗る盛會なりし

●郵便物取扱要領 年賀 既報の如く京城郵便局にては十五日より二十九日迄年賀郵便の特別取扱へを開始したるが每年歳末に迫つて一時に差出す人多く爲めに郵便物輻輳の結果遅延又は延着等を免かれざれば可成的速かに差出す方相互の便利なるべし今左に之れが郵便局に於ける取扱要領を掲ぐ

一、總て料金完納の普通々常郵便物は年賀郵便として差出す事を得

二、年賀郵便物には「年賀郵便」と記載したる紙片を附し之を一束とし郵便局又は郵便所の窓口に差出す事但し其の數甚少きものは之を封筒に納め「年賀郵便」と表記し郵便函に投入する事を得

三、特別取扱年賀郵便物には引受局にて四十五年一月一日の引受日附印を押捺の上豫め配達局へ送付し配達局にては一月一日の第一號便にて配達す

尚多數差出しの向にして取纏めの上其の旨電話又は書面にて郵便局に通知しなば郵便局にては二十六日迄に其の都度集配人を遣はすべしとのことなり

●動亂と京城の商工業 清國動亂に關し之れが京城の商工業及び金融に及ぼせる影響に就き京城日本人商業會議所に於て調査したる結果左の如し

清國は三十七八年の戰役以來年々其の勢力を失墜し殊に統監府設置以來一層甚だしく從つて這回の動亂に關し其の直接の影響極めて少なきの觀あり僅かに絹布麻布等一部鮮人の取引あるに過ぎず又人參牛皮等相當の輸出品あり綿糸等は日清貿易の關係よりして多少と雖も未だ大なる影響あるを見ず綿布…當地に影響を及ぼしたるが如きも之れ必竟間接に受けたる影響にして唯二三の御的輸入業者に於ては多少の利害關係を有せざるに非ざるも一般小賣業者及需要者にいたりては何等の影響なしといふを得べし而して一面鮮人側を見るに在留清商が其の取引に於て不便を感じ且つ本國より現金送還の請求を受くること甚だしく從つて鮮人に對する督促代金の回收頗る猛烈を極め殆んど金の外送に取引をなさゞるに至りしを以て之れに關係ある一部鮮人は大に困難を感じ居れり殊に鮮人中清國產絹布類販賣業者は非常なる窮境に陷り已に二三の倒產を出したりと雖も之れ其の一部に止り未だ一般經濟界に何等の影響を與へず要するに這回の動亂にして久しきに亘るに於ては寧ろ內地を經て…

●京城取引所の出願 既記の如く京城取引所設立の認可申請書は愈々十五日釘本氏外七十名連署の上當府廳經由總督に出願したりと

●鮮人赤十字團計畫 鮮人李某は清國革命戰爭の負傷者を救護する目的を以て鮮人赤十字團を組織して渡清せんと計畫し目下應募者十數名ある由にて團員二十五名に達せば當地赤十字社支部に交渉し諸般の指圖を受けて出發すべしと云ふ

●李王殿下の御成 既記の如く昌德宮李王殿下には十五日午前十一時德壽宮に成らせられ歳末の挨拶をなされそれより午餐を共にせられ午後二時歸宮されたり

●宗例長官會議開會 十五日午前十時より總督府に於て山縣總監、石塚、倉富、宇佐美、小松、明石、俵、菊池の各長官鈴木、岡本、三本の各長官代理等出席し政務に關し協議し十二時散會

●風致林取締依囑 平壤林原面上元三里の國有林即ち箕子陵林は先般保安林に編入せられたるが右は風致林として保安林に編入せられしものなれば道廳にては警察署に照會のうへ之が取締方を依賴せしと云ふ

寄書

火の消へた年末

市井隱士

京城新報記者足下、明治も四十四年となりまして、前總理大臣桂公が言はれしことをツイ昨日今日と思つて居る中に、此四十四年も今となつては餘すところ僅かに二週日となつた。

記者足下、余は總督政治に對しては單に小なる被治者の一人である、故に四十四年中に於て寺内總督が爲したる諸般の施設に付いて其良否を論ずるの資格を有たぬ、尤も余とて總督政治に對して推許の言を有せぬでもない、併し諺にもある如く泣く子と地頭には勝たれぬもの、微少な余の如きが何を言つたとて亦た思つたとて夫れが何の役にも立つものでなければ、茲には政治向に關しては一切口を噤んでナンにも言はぬ。

記者足下、余は政治向に付てはナンにも言はぬ、而かはあれど、余も社會の一員たる以上、政治に喙を容れぬと決心したからとて、社會の何事にも一切知らぬが佛と濟まして居る譯には行かぬ、…余と社會とは…の運命を共にするもの、社會にして不景氣なる以上、余も同時に飯が喰へぬ…なるからである。

記者足下、今や四十四年の年末に際す。言はずと知れた年末は一ヶ年の結了期、此時に於て人は本年中の收支決算を明かにし、其餘りあれば歳暮の贈答品を購ひ、若しくは新衣新器を調へ新年を迎ふるの用意を爲すべきである、故に若しも各人の懷にして溫かき以上、今は乃ち市況は活潑に諸商品は飛ぶが如くに動くべきであるのである。

記者足下、悲しむらくは本四十四年年末の商況は火の消えた如くである、成程各商店は例年の如く仕入をした、故に稅關の移輸入表に依つては商況はさも活潑なるが如くに察せられる、然れども商品は只だ移輸入された許りで之れが捌かれなければ商況の不振は免がれぬもの、而して今や我京城の各商店は仕入れたのみで一向に捌けぬ、其不景氣不振は實に涙の出る程であるのである。

記者足下、回顧すれば昨年の年末も隨分不景氣であつた、併し昨年は何を云ふにも併合と云ふ大事の成つた年で、大事の前の小事、何人も相顧みて辛抱した、だが今年末も昨年末と同樣不景氣とあつてはモハヤ辛抱がならぬ、茲に於てかどうしても不景氣の源因を糺して其恢復に勉めねばならぬ。

記者足下、寺内總督閣下は福の神と綽名さるゝ人だ、而るに此福の神が當地に見はれて以來、每年々々我京城の年末が不景氣になるのは不思議千萬な話だ、然らば如何不景氣の源因は寺内總督にありや否。

記者足下、余は年末の不景氣を以て總督のセイなりなどゝ無責任の言を弄するものに非ず、併し不思議にも現總督と年末の不景氣とは附物の如く見ゆるど、茲に於てか口さがなき諸は彼是れと不景氣の責を總督政治に歸する。嗚呼政治の要は民をして鼓腹擊壤せしむるにあり、年末に際して商況不振なるが如は決して鼓腹擊壤の徵ではない

●朝鮮郵船發企 朝鮮郵船會社は十五日東京日本郵船會社内に於て發企人會を開きたるが創立委員長には多分日本郵船會社々長近藤廉平氏を推さんと意氣込みつゝありと

●石炭の需給狀況 極月に入りての京城石炭の需給狀況を聞くに昨年の貯炭高は有烟炭五千五百噸無烟炭七百噸（内粉炭四百噸煉炭三百噸）計四千二百噸にして一日の需用高は平均百噸の時節柄一般に騰貴し九州炭及無烟粉炭の價格は一噸九圓乃至十圓煉炭は十三圓なりと尚貯蓄炭は昨年を以て最とし今後に於けるものは重に補助炭にて需用も本月より二月迄の間を最も多しとなす由

●鮮人教員養成所 平壤高等普通學校にては來る四十五年一月十日より三月末日まで約三ヶ月間臨時教員養成所を開設する由なるが其の生徒募集區域は平安南北及び黃海道にして人員は三十名とし入學資格二十歳の男子にして普通學校卒業生か或は同等の學力ある者とし先づ一道に十名宛を募集する考にて卒業後は指定の學校にて教師をなさしむる等なりと因に入學中は學費として一人に付月七圓を給せらるべしと

●授產場職員の練習 京城道廳にては管内京城、水原、陽智、廣州、楊州、富平、光華、開城、漣山の各恩賜授產場職員二名宛を召集し去月廿八日より三週間に渉り京城府授產場内に於て製糸、生糸整理、會計法研究、蠶見製作練習等を行はしめ既に農商工部三用屬の養鷄講話、工業傳習所更田技師の桑皮利用法、道近野技師桂樹養成法等の講話あり目下蠶莚製織法の實習中にして講習は一日間の延期を以て十八日に終了を告ぐる豫定なるが各講習者は歸田の上恰も冬季閑散期なるを利用し各所屬府郡の農民等に來春三月頃までの期間内に於て蠶莚製織其他這回講習せる產業上の講習を行ふ地方產業の奬勵を計るといふ

●前田正名氏の入京 五二會長前田正名氏は十四日午後零時南大門着の滿鮮直通列車にて入京し俵土地調査局副總裁の宅に投宿せり因に同氏は十六日午前九時南大門發列車にて歸途に就くべしと云ふ

●前田氏と政務總監 前田正名氏は十五日午前十一時總督府に山縣政務總監を訪問したり

●總督府試補の懇親會 過般總督府試補を命ぜられたる十五名は十五日午後六時より花月にて忘年會を兼ね懇親の宴を催ふすべしと云ふ

●秋山參事官專任 秋山參事官は陸軍省參事官及法制局參事官を兼ね居りしが今回法制局兼官を免せられ總督府及陸軍省參事官の專任となれり

●宮尾拓殖部長の出發 拓殖局部長宮尾舜治氏は十四日夜入京天眞樓に一泊し十五日朝滿洲に向つて出發せり

●長野博士の入京 長野工學博士は朝鮮銀行の囑託を受け新築工事狀況視察のため十四日夜入京巴城館に投宿せり

● 本紙編輯…上野…氏夫人トミ子は十五日午前一時死したり葬儀は十七日午後一時大和町淨土宗開教院に於て執行すべしと

●工藤氏の結婚披露式 京城醫院長工藤武城氏は這回結婚したるを以て十九日午後七時半ソンタクホテルに於て披露式を擧行すべしといふ

公人私人

▲本田幸介（水原模範場長） 十四日…

▲阿部安積（前田組技師） 宿巴城館へ

▲金原信泰（同上） 同

▲京城手形交換高

十二月十五日　枚 …　一八六、〇四九、六六〇

▲治外法權▼

支那革命亂も此頃ではドウヤラ其に附きだしたと云ふが現在ではまた鎭火したと云ふでもないから、新聞としては報道を譯には行かぬ▲米國の鐵道王某、米國本紙行の某に語つて曰く、米國人の支那に於ける計畫は總べて失敗に歸したと云ふのも米人には支那の事情が判らないからだ、で、自分なども支那に就いては斷念した▲獨逸人英太利人や乃至露西亞人などが支那人相手に事が出來るものでない、ソレでも支那の事は日本人に因つて…れねばならぬ▲トコロが自分の見るところに因ると、日本人にはまだ…の…がある、此癖や對支那日本人の事業に大なる害をするものである、ダカラ今後日本人は對支那の事業に關し不言實行でなければならぬ▲鐵道王の言ふ所是と云ふて可なり、邦人は今後…平凡なる如く聞ゆれど、實は頂門の一針と云ふて可なり、不言實行であり…の事業に關し、例の朝鮮郵船會社も愈々出來るが、出來上がつた曉には、大坂商船の分身たる釜山商船組の大々的競爭を受けることであらう、年二十萬圓の補助を當てに大坂商船と競爭せる朝鮮郵船の株主たらんとする際落附いて一考再考を費やすべからう▲東洋拓殖の新事務所は既に竣へ、來る二十八日を以て、新…をさるゝことになつて居る、之…た來春新築披露をする運になつ…朝鮮の營業所も遠からず竣工し…▲右に付き或人の曰く、東拓の…は、其構造の粗雜なる點より商…く、鮮銀のは堅牢立派なる點よ…の如しと▲亦た曰く、東拓鮮銀…一は軍艦との相違はあれど、何…艦長共ドッコイ、ドッコイ、…船艦長に因つて座礁せられ若し…役の運命を見せらるゝことであ…

▲京龍兩驛の貴客▼

▲龍山驛乘降客（十四日分）

掲示

本城所管ノ森林内ニ於テ左ノ行爲ヲナスコトヲ禁止ス

一、樹木ヲ盗伐スルコト
一、落葉、下草、灌木類、樹皮、樹實、菌類、土石等ヲ採取スルコト
一、火災ノ原因タル虞アル行爲ヲナスコト
一、標識ヲ移轉シ又ハ毀損スルコト

以上

明治四十四年十一月　李王職

國寶「花山森林」を視る（五）

天眞生

寺は森林との間に[illegible]打ち開けたる處にあつて花山陵即ち健隆二陵に通ずる路傍にある、寺門の前三十歩程の所に丹塗の鳥居の如きもの―頂は丌の字形ならずして笏形をなせる―の樹てるを潜りて寺門に達す扁して花山龍珠寺と云ふ

花山龍珠寺

左右の門柱には『琉璃雲房』『金色花界』とあり本山住持姜大蓮と標してある、下人が頻りと門前の落穂を掃き寄せて居る、寺は門前の畓を筆頭に森林中に散在せる水田畑より上る年貢米を以て維持せられて居るのだとか、僧俗總計三十人位の家内であると、門を入る右の房に老梅房とあつて尼さんらしいのが何やら炊事中だ、房の前に長一間半大さ二抱へ程の松の木を刳り拔いた獨木舟が轉してある、食器など洗ふ器だ

天保樓

更らに樓門がある天保樓とある

樓下には年貢米

樓下には年貢米の叺が三百程も積まれて樓前に敷かれた蓆の上には味噌豆のサヤのまゝなるが干してある夫れを下人が踏んで居る、樓を入ると兩側に僧房が列んで居る、右なるは曼珠利室、左なるは那由他寮と云ふ、

大雄寶殿

正殿には大雄寶殿と扁額せられ右柱には世尊坐道場左柱には清淨大光明と大書し小さく左右に割つて八萬四千法門同到彼岸、二百五十大戒擁迷途と書かれてある、要するに通佛教であつて華嚴とか天台とか云ふ宗旨は無いのだ、朝鮮のは總じて左様である、殿内を覗き見ると金泥の世尊の坐像を中央に安置して其前に

李太王殿下壽萬歳
李王殿下壽萬歳
王世子殿下壽萬歳

天皇帝陛下壽萬歳

と四基の萬壽牌が列んで居る、天皇帝とは日本天皇陛下を指せるものなるこ[illegible]に思ふた、嚴貴妃御在世の際は李太王殿下の前にモ一基あつたに相違ない而して其一基があつた折は陛下のが中央であつて坊さん達も都合好く感じて居だこどだらうと右側定百門内に護聖殿と云ふがあり左側廣淵門内に十方七燈閣とあり大なる鉦を釣り渡した兩柱に結無盡喜歡無常住極樂淨土、除一切苦惱想普渡大願慈航と書かれてある、其他四五の殿堂ありたれど左迄は記憶せず、敢て大伽藍と云ふでは無いが朝鮮にては有數の寺院であらう辭し去らんとして天保樓上を見れば『佛教講習會』と

佛教講習會

標して講目を華嚴、法華、圓覺、楞嚴、維摩、恩重、初心と云つた如に書き列ねてある、傍人を顧みて盛んなものだね朝鮮の坊さんも馬鹿にはならんなと云へば笑つて曰く『ア、致して置きますので』と喩々として笑ふ、本魚―魚の全形…は風に搖めいて居る、僧房人語なく闃寂として心氣水の如し、移るに疾く時は四時に垂んとして日漸く傾き初む、再び森林中の人となれば氣温太く降りて風は耳に痛い、水原府安寧面松山洞に出づ人家十數戶、老幼男女打混りて

豆の收穫

に忙しげなるも

方法幼稚

なれば勞多くして功鮮なき樣み、一行の鞋音跫音に驚きてや清魂しく吠ゆる犬の聲は森林に徹して物凄い、も少し物凄い形容であるが、架狗は甕にすら吠ゆるさかや鮮狗の日人に吠ゆる位は我怖たせざあなるまい（つゞく）

京城の兒童は元氣だ

▽横山南大門校長談△

朝鮮に在る小學兒童と内地の小學兒童を比較するさ矢張親が海外にまで來て新天地に自己の運命を開拓しようさいふ獨鬪的精神を有つてゐるので自然子供迄がなか〳〵元氣で中には隨分手も付けられないのがありますが概して教師に對しては從順です學課の方に就ても元氣なだけ決して内地のソレに比して劣ることはありません然し何處でも同じ樣に名門の子になると母親が餘程シッカリしてゐないと餘り大切にし過ぎて意志の薄弱な非活動的人間にして了ひます子供時代に於ける意志の鍛錬は忽かにすべからざることで常に此の事には心掛けて居ります未だ校風といふべきものを爲すには至りませんが日本國民の名を汚す勿れ母校の名を傷くる勿れといふことは機會ある毎に訓誨して居ります家庭との連絡に就ては苦心してゐます何しろ現在千七百七十四人の生徒を有するので充分に手の廻らぬ憾みがあります受持教師をして家庭訪問は餘りやらせないで必要のことある場合は教師が出掛けるか父兄を學校に來て貰ふ樣にしてゐます

社告

烏兎匆々歳極月と相成本紙新年號準備の期も愈相近かづき申候就て本紙が此際愛讀各位に御願致度は本紙新年號に掲載すべき各位

玉稿の御寄贈に候其玉稿の論文たると將た美文たると詩、歌、俳句情歌端歌たるとは各位の御隨意にして本紙は硬軟何れをも歡迎仕候

新年畫附錄

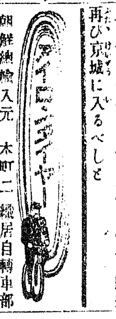
本紙新年畫附錄は本紙が特に邦畫の大家 **川端玉章翁** に依囑して成りたる **勅題松上鶴** の祝畫にして其高尚優美なるは贅言を要せずと被信候

十二月　京城新報社

三田光一の幽靈

▽怖い人が五六人

當地打揚後大連に乘り込み同地歌舞伎座に於て其不可思議を實驗に供し居たる三田光一の物体透視は全く千里眼に相違なきも萬物出現に至つては立派な八百長なりと云ふものあり二日目（本月九日）懐中より福助を取り落したとか云ふ騒ぎより三日目は物体顯出には興行人に於て信用ある人數名を指定すべければ此人々の注文に應じて其八百長ならざるを證明せよと迫り三田は夫れ迄に疑はれては萬物顯出は行ふ能はずとてこれを斷りしより然らば此興行を中止すべしとて遂に七日間の興行豫定を三日間にて中止する事となりたるより三田光一は其夜舞臺上に於て此興行を今夜限りにて中止する事となりたる旨を告げ昨夜懐中より取り落したるは全く福助にあらず只自分が信ずる一種の物体を座員にも秘密にて携帯し居たるなり然るを豫め用意し置くが如く言はるゝは遺憾なり千里眼の元祖御船千鶴子長尾郁子の兩婦人が毒殺されたりと云ふも今にして始めて其事實なりしかを信ぜんとす自分も又必ず毒を仰いで死すべし此世にて諸君と再び相會の機會なかるべし余の肉体は消ゆると云へども靈魂は猶に此世に止まりて五六の人を怨むべしとて聲色を勵まし分れを告げたる由なるも全く興行を中止したるにはあらずと因に同人は歸途再び京城に入るべしと



朝鮮總輸入元　本町二丁目　鐵居自轉車部

平産十人新禱

▽花月福奴の凄腕

ニコ〳〵と笑ふ門には福來る花月が內の福奴と云ふ美しいのが過る頃より妊娠懐胎とあつて郷里の福岡に福に縁ある布袋樣の土左衛門か臀から息を吹き込まれた河豚かの如なお腹を引拋ねて平産の爲めに歸郷仕つたことは更めて御披露申すまでも無く先刻御承知の通りにて又其前身が馬脚浮田伊兵衛の内緒の妻なりしが同じ花月の藝妓辰子に其傳兵衛を寢取られて手を切つたのも御承知の通りなるが思ふ所夫を寢取られたと申すと腕の無い藝妓の如で御座るが夫は弘法にも筆の誤り河童の川流れ猿も木から落ちるの格で油斷の隙をして遣られたに過ぎない證據を今茲に御覧に入れる、扨も妊娠と云へば腹に兒が出來た譯、兒が出來れば少くも父親の一人はあるのが世間普通の話しなれば

福奴の腹の子にも父

親なかる可らずと探れば探る程出て來るこそ**夢に拾ふ錢の樣**に**次から次から出て來る**顔觸は總督府から調査局朝鮮銀行から請負業者商人もあれば藝者もあり知り得た丈が將に十人一人娘に聟八人とは洒落きもの、斷わに引かれるを此れは其上を行つた一人胎兒に父十人、其十人を衝突させざりしさへ凄きに現在其十人が十人福奴の腹の子は俺のだ〳〵と思ひ込ませ題をせて居るのみか其所を附け日に參詣のお仲居に死で宛名丈け違つた同文の玉章なるものを少くも每月一回は送り越すこれ何は花月の勘定を取りに回る掛りをして安産株金拂込通告書に代用して配達集金して手數料の三割を引去つて福奴に送金して居る凄い樂屋を御存じない十人の父さんの顔、氣の所爲だらう間脫けた加減イヤ見られたものに非ずだ、況んや近く福奴に逢つて歸つた某氏の如きは同人の妊娠は嘘だと言つて居るに至つては論にも書けない醜姿で御座る

辯護十殺の判決

▽果して犯人なるか

本年三月北部水門洞分署管内に於て辯護士安肯洙を殺害したる被告人安鍾變外四名の謀殺事件は既報の如く公判進行するに隨ひ犯罪擧行當時被告等が他に居りたる反證揚りしより辯護人大久保雅彦氏等は當該官憲の拷問に堪へ兼ね各被告等が無實を自白したるものにて犯罪の證據不充分として無罪論を主張せしが判官に於ても多少考料する點ありしと見へ辯論終決して三週間以上も言渡宣告なかりしが十五日午前十時安鍾遂安斗遠安東直の三名は絞刑に安珠は懲役十五年に處せられ安乘浩は無罪の宣告を受けしが有罪の各被告等は直ちに辯護人大久保辯護士外四名に控訴の手續依頼したりと

仲居評判記（十一）

有明樓のお春

有明樓と云へば當地壽町二丁目にお手輕專門の料理店だがツイ昨年の秋迄永樂町一丁目の紺代の隣家に居たのだ、繁昌の結果が手狹を感ずる事になつて新築移轉に及んだのである同樓は仲居の出代りが多い所へ持つて來て評判子お馴染がないものだから御紹介も延引して今日に及んだ次第ですから宜からう樣に舋召して頂きたい併し此程譯を申しても承知出來んとあらば勝手にしろだ、馬鹿にするない江戶ッ子だい、八王子在の江戶ッ子だい、と威勢の好い所を見せて置かないと何日も溫和しいものと思つて馬鹿にして困る、扨お春は當年十八の娘盛り、山口縣萩の城下で生れた本名は角はる、十五の時同家に仲居見習として住込んだもので若年ながら古參として集金掛を兼務して居る丸ポチャのニコ〳〵とビリおやないエ・と大黑顏、眞面目な顔して『私十八ですけど未だなのよ』など、何うも怪しからない事を申上げて居るが應う御座るやら心許ない事で御座る『お森は〳〵『私所でも以前は藝妓を置きましたが今日では抱へて居りませんのお客樣次第で檢番から呼びます、お客が無い方にはお可代さんかお鯉さんを呼びますが差閊へがあれば井門さんから願ひますの』と申して居る、確乎したものである

三越の羽子板

▽玩具も共に陳列

三越呉服店の羽子板及び玩具の陳列會は十五日より開始されたるが休憩室一面に美々しく飾られたる中に同店の衣裳鬪爭の懸賞に一等を得たる元祿美人の三人立六代目菊五郎の鞘隨院長兵衛高麗藏の辨慶等最も人目を惹きたり玩具類は男兒向きには潜水艇飛行機女兒向きとして舶來食器類刺繡用具等坊ちやんや孃ちやん達の低徊去るに忍びざるもの數多ありたり

伯李完用勝つ

▽相手は鮮人新平民

京畿道通津郡奉城面石灘里六統一戶權壽壽が李完用伯を相手取り同所伏在水田十六斗落同草坪八十七斗落以上見積價格一千圓の土地所有權確認及び引渡請求の訴訟を京城地方裁判所仁川支部に提起したるは已報の如くにて仁川支部にて審理中の處十三日原告權壽壽の敗訴となる

●仁川港の衝突船　大坂商船會社仁川支店錦江丸船長福岡縣生士岐甚吉（三六）は十三日午後〇時同船にて航行中仁川税關棧橋側に繋留中の鮮人通船金哲用（三二）同文在宅（四〇）の所有船に衝突し通船に損傷を負はしめし騒ぎに警官出張取調の結果商船會社に於て該損傷船を修繕し金哲用に引渡す事に決し事濟

●捉まりに京城迄　住所不定の金永春（三七）は日本語に精通せるより高橋慶次郎と僞名し馬山警察署管内に於て詐欺及竊盜罪を犯し逃走せるが南大門驛に下車すべければとて逮捕方電報にて照會に接したる南部署は警官を派し十四日午後八時半同驛にて取押へたり

●姦婦姦夫の處刑　京畿道月谷面實樹里居住韓昌履（四〇）は隣家の金順天の妻元葉（三二）と姦通し其の筋に告訴されしが京城地方裁判所に於て姦夫は懲役一年に姦婦は懲役四月に處せらる

●大西部署に捕る　住所不定金浩鳳は儀式用の深ゴム上等靴一足を窃取し西大門分署に逮れ取調中なるが被害者不明に付心當りの被害者は同署に申出づ可しと

●詐欺取財犯處刑　元朝鮮新聞社員鈴木貞雄の詐欺取財并に横領罪は懲役八ヶ月に處せらる

●ボヤ　十四日午後四時頃西部盤松坊天然洞百七十二統五戶李昌玉方の泥突より發火し半燒にて鎭火

野邑安之助妻トミ事病氣の處本月十五日死去候に付ては葬儀は來る十七日午後一時出棺於大和町淨土宗開教院執行仕候間此段生前辱知各位に謹告仕候

十二月十五日

友人總代　峯岸繁太郎　池上要吉　野村助治

●諸公債諸株券現物賣買
迅速確實に御取扱可申候
兼業 陸軍諸官衙御用達
京城本町三丁目
大坂野村德七代理店
田中友吉商店（電略タ）

口中香錠 ボイス
今日まで他に比類なき検定口中香錠
僅か一粒を口にせば其味頗る美にして香味朗かに芳香の馥郁たる點に於ては口中香錠中本品に優る品なし故に全國の紳士淑女は勿論、諸官吏、長唄、清元、義太夫、浪花節家、謡曲家、其他衛生を重ずる人々の間に常備薬として今や非常の大流行を來せり
本舗 松澤常吉
全國到る所賣藥化粧品店にて販賣す
代理店 京城南大門通三丁目 新井藥房 電話九〇四番一〇六八 振替口座京城十六番


かい 胃 目 藥
代理店 京城南大門通三丁目 新井藥房 電話九〇四番一〇六八 振替口座京城十六番

ばんどく そうどく あつけしれ トクソ丸
本舗大坂 本城丁子堂
代理店 京城南大門通三丁目 新井藥房 電話九〇四番一〇六八 振替口座京城十六番

真正のアイボリー石鹸

米國製 アイボリー
石鹸に偽物あり 包紙に御注意を乞ふ

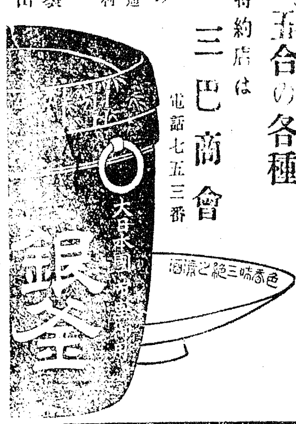
銀行一般の業務精々御便利に取扱申候
京城黄金町（銅峴）
株式會社 十八銀行支店
電話四二〇番 五八〇番
◎本店 長崎市
◎出張所 朝鮮の各樞要地並に露領浦鹽、滿洲國安東縣、大連に支店
◎株式會社長崎貯蓄銀行京城代理店として貯蓄預金取扱申候
◎貯蓄預金
◎元金百圓に付日歩一錢二厘
◎一口 錢以上何程にても御預り申候
貯蓄預金受拂共精々御便利に取扱申候

例年之通景品附
◎歳暮御贈答品大賣出
▲左記御贈答用品として取揃居申候
▲鰹節箱入▲鰹節袋入▲砂糖桶詰各種
▲奈良漬樽詰▲鮭粕漬樽詰▲鮭粕漬▲鮭鹽漬▲各種漬物
類一式▲櫻印醬油▲甘露醬油瓶詰▲櫻正宗瓶詰▲西洋酒類▲西洋菓子▲乾物類▲罐詰類▲雲丹瓶詰
●商品切手
陸軍諸官衙御用達
京城本町五丁目
㊅大上友太郎商店
電話二百五十壹番

歳末歳始贈答品は電話三八〇番

贈答用として最好適品は何？
十九年以前より今日あるを豫期し
清酒界無防腐劑の先驅なる
色香味三絶の美酒
銀釜牛樽及壜詰五升、參升、貳升、壹升、五合の各種

滿鮮特約店は
京城本町一 三巴商會 電話七五三番
殊に弊會發行の酒券は本支店共通にして至極御便利に有之候
支店 安東縣、平壤、大田、龍山


色香味三絶之清酒

歳暮御進物御贈答品は日下部商店に限る
◎高名漬物之部
白瓜、茄子、胡瓜、（五品詰合せ）守口大根、西瓜、奈良漬（小樽詰） 八十錢より三圓迄
名古屋産茄子辛子漬（小樽詰） 五十錢より三圓迄
靜岡産わさび漬（小樽詰） 三十錢より二圓迄
大根、茄、瓜、味噌漬（三品詰合せ）（小樽入） 一圓より三圓迄
京都産千枚漬（小樽詰） 三十錢より二圓五十錢迄
鮭粕漬（小樽詰） 八十錢より二圓五十錢迄
このわた（小樽及蓄物詰） 五十錢より五圓迄
◎珍品並ニ罐詰之部
鮭筋子粕漬（小樽詰） 一圓より五圓迄
明太子（小樽詰） 五十錢より二圓迄
鮭糀漬（小樽詰） 五十錢より二圓迄
鰹節 一圓より七圓まで 色々
◎瓶詰並ニ罐詰之部
雲丹、鹽辛、花良京、玉寿、尾羽毛、千代巻、品川巻、きらく煮、味付海苔、淺草海苔罐入、養老巻、鯛の花、海老の花
◎其他
北海道産鮭、雲州蜜柑、白砂糖（五斤、七斤、十斤、廿斤 小桶詰）
醇酒櫻正宗（一合詰、四合詰、升詰、瓶詰）
銘酒白鶴（一合詰、四合詰、升詰、瓶詰）
清酒金露（一合詰、四合詰、升詰、瓶詰）
右品々全部取揃置候間多少不拘御用命仰付被下度奉希上候
尚地方ヨリ御注文ノ節ハ代金引換小包ヲ以テ荷造完全ヲ保證シ即刻郵送可仕候
但シ奈良漬及び蕪千枚漬小桶詰は他店に類似品澤山有之候間
商標㊐印に御注意を乞ふ又日下部商店に限り五十錢毎に聯合賣出景品券ヲ進呈仕べく候
陸軍諸官衙 總督府醫院 御用達
大勉强の親玉 たなじみの漬物屋 ㊐ 日下部商店
電話一一三番


複方吐根散 たんせきの特効藥
谷回春堂
代理店 京城南大門通三丁目 新井藥房 電話九百〇四番 電話千六十八番 振替口座京城十六番


歐米各國自轉車各種
ヴイクター會社蓄音機械
銀製品各種
直輸入元
京城本町四丁目 織居本店
二丁目 織居自轉車部

米豆取引所仲買人
倉重本店

大阪株式取引所仲買人
北治株式店

株式 米穀

改良特製珍品
◎右原産地ヨリ多數輸入廉價に販賣仕候間多少に不拘御用命の程奉希上候
鮭の筋子
新荒巻鮭 鱒、紅鮭 數の子
食料品卸賣 海產物貿易商
京城南大門内米倉町市場
丁池尻林太郎
電話三五一番 振替口座京城八六番

世界一 かぜの藥
全國藥店にあり

ねつ・はやりかぜ・づつう りうまちすに大効あり
蛇印 アンチピリン丸
藥價 五錢・十五錢・廿五錢
發賣 大阪心齋橋二丁目 丹平商會
本舗 東京日本橋通油町 丹平商會
代理店 京城 新井藥房 電話九百四番 一〇六八番 振替口座 京城十六番

齒科診療
齒科醫 楢崎東陽
京城南山町二丁目（天真樓寫眞館跡）
電話千三百六十番

京城明治町一丁目 森村質店隣
榊齒術所
電話（六六九番）へ

指環 時計鎖及附屬品
眼鏡 金銀小間物及卸類
金銀盃（00）貴婦人用貴金屬製品一切
貴金屬美術品 製作所 京城明治町壹丁目 吉川金光堂 電話一五二一番
▲寶石入貴金屬製品▲其他金銀細工調製
▲弊店の特色 親切を旨とし確實に御調製可申候

當銀行ハ預金、貸附、爲替等一般銀行業務ヲ確實親切ニ取扱申候
朝鮮銀行
電話 壹參參番 貳〇番 壹貳〇番 六壹番
支店出張所 大阪、仁川、平壤、元山、群山、鎭南浦、木浦、釜山、馬山、安東縣
右ノ外内外主要ノ地ニ爲替取引先有之候

十二月 滊船出帆廣告
三省丸 濟島行 十二月十六日午前十時
三省丸 海州行 十二月十六日午後十一時
安東丸 屯串行 十二月十六日午前十二時
三省丸 大湖芝行 十二月十九日午前七時 九時
合資會社 秋田商會 仁川本町一丁目 電話七五〇番
荷客取扱所 秋田商會船舶部 仁川本町海岸通 電話四一九番
設所 柴田回漕店 仁川本町四丁目 電話一七三番
山本回漕店 電話五二二番


くだりやまい一切の特効藥
健胃固腸丸
主治 ●赤痢病●コレラ病●腸胃加答兒等に用ひて實効速なり ●常に貯へ置き朝夕五粒づゝ飲めば腸胃の衰弱を治し食物の消化を助く
本劑ハ全國到る所の賣藥店ニ有り
大阪市東區伏見町堺筋角 本舗 谷回春堂（電話東四五八番）（振替貯金口座八三〇）
代理店 京城南大門通三丁目 新井藥房 電話九〇四番一〇六八 振替口座京城十六番


胃腸藥 わかい散
代理店 京城南大門通三丁目 新井藥房 電話九〇四番一〇六八 振替口座京城十六番